

Introduction ▶ 七十七グループが長期的に目指す「なりたい姿」

地域社会の繁栄のため、
最良のソリューションで感動と信頼を積み重ね、
ステークホルダーとともに、

宮城・東北から活躍のフィールドを 切り拓いていくリーディングカンパニー

2025年 統合報告書 CONTENTS

Introduction

- 01 七十七グループが長期的に
目指す「なりたい姿」・目次
- 02 行是・「Vision 2030」

マネジメントメッセージ

- 06 トップメッセージ
- 14 財務担当役員メッセージ

七十七グループの価値創造

- 20 成長を続けてきたあゆみ
- 22 宮城の現況とポテンシャル
- 24 財務・非財務ハイライト
- 26 11年間の主要財務データ
- 28 価値創造の源泉/
七十七グループの強み
- 30 価値創造プロセス
- 32 マテリアリティの解決

七十七グループの価値向上

- 34 顧客満足度
ナンバーワン戦略
- 42 生産性倍増戦略
- 48 地域成長戦略
- 54 企業文化改革戦略
- 64 サステナビリティへの取組み

コーポレートガバナンス

- 76 社外取締役メッセージ
- 78 ガバナンス体制
- 86 リスク管理態勢
- 89 法令等遵守
(コンプライアンス)の体制
- 92 プロフィール・
グループ会社一覧
- 93 店舗等ネットワーク

編集方針

七十七銀行では、このたび、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに当行の持続的な価値創造に向けた取組みをご理解いただくため、「THE 77 BANK INTEGRATED REPORT 2025(七十七銀行統合報告書)」を作成しました。
編集にあたっては、IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にし、当行のビジネスモデルや、持続的な価値創造の仕組みを統合的に説明しています。なお、詳細な財務データ等につきましては、「DISCLOSURE 2025」(当行ホームページ<https://www.77bank.co.jp/>に掲載)をご覧ください。



行 是

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、
自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行ない、

もって国民経済の発展に寄与することにある。

この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、

自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。

以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものによるべき軌範を定める。

一、奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、
つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一、信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一、和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、
つねにその涵養につとめる。

Vision 2030



未来を切り拓くリーディングカンパニー

行是に記した経営理念(使命)を実現していくために、
未来の七十七グループの姿を描き、
グループ役職員が一丸となって前進する羅針盤となるもの、
それが「Vision 2030」です

▶ 「Vision 2030」の概要

金融機能とコンサルティングを極めるとともに非金融分野における事業領域を拡大



宮城・仙台圏のポテンシャルと東北全域等の有力な顧客を結ぶネットワークを構築

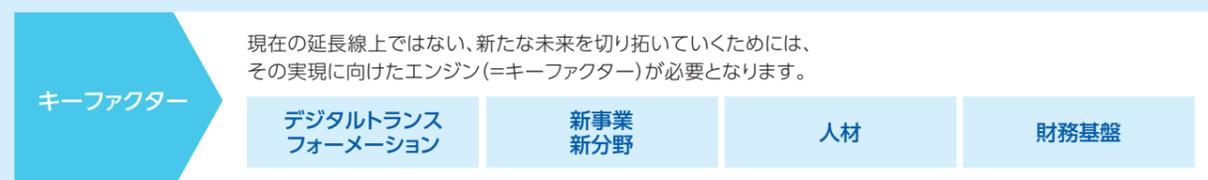


リーディングカンパニー(同じ志を持った者の集団、地域をリードする企業グループ)へ深化



▶ 七十七グループの方向性

「なりたい姿」を見据え、七十七グループの強みを伸ばし、弱みを改善し、組織を活性化していくことで、現状の延長線上ではない七十七グループに向かっていきます。



▶ 「なりたい姿」の実現に向けた基本戦略

「Vision 2030」では、地域経済の活性化やあらゆる人々の活躍推進といったSDGs宣言の趣旨を踏まえ、地域と七十七グループが持続的に成長していくための進むべき方向を描きます。



▶ 「Vision 2030」の中間見直しに着手(2025年度中に計画策定)

「Vision 2030」策定時より、5年毎に「なりたい姿」を見直し、継続的なPDCAを実践することとしており、「Vision 2030」の中間見直しに着手しました。また、「金利のある世界」が一段と進展するなか、2030年度に掲げる財務目標につきましても、前倒し達成が視野に入っていることを踏まえ、見直すことを予定しています。



財務目標

	2020年度	2025年度 予想	2030年度 なりたい姿
当期純利益(連結)	165億円	440億円	450億円
ROE(連結)	3.42%	7.55%	7%以上
自己資本比率(連結)	10.39%	10.26%	10.0%程度 (10.0%~10.5%)
コアOHR	62.27%	44.46%	40%以下

見直しを
予定